

作 品 発 表

お話より (工芸・染色)

戸 坂 恵美子

この作品は、子供部屋のための、壁面装飾というテーマのもとに制作したものであり、前号にひき続き、お話シリーズの中の一点である。

使用の布地は、木綿厚地であり、技法は、防染糊を用いた型染である。

使用染料は、ナフトール染料A S属のものであり、工程は型置きした布に下漬剤A S - B Gに、顕色剤ブルーBをカップリングして、城・人形・木等を濃紺に染め、ソーピングの後、完全に乾燥して、白の部分を糊伏せし、次に下漬剤A S - B Gに、顕色剤スカーレットG Gをカップリングして、地色の褐色がかかった濃赤を染色したものである。

尚、染料の使用分量は後記の通りである。

日本古来より、伝えられる糊料を用いての型染と、洋風のモチーフを組み合わせることで独特の雰囲気表現を考えたことと、又ナフトール染料を選んだのは、この染料が、木綿染に適している点と、日光に対する堅牢度が、高いという点で、壁面装飾という目的にふさわしいと考えたためである。

布地は特に、染料の吸収が早いので、むら染を避けることに苦心し、又防染糊の中まで浸透しがちな、染液をいかにして防ぎ、細い線の部分をきれいに表現するかという点が、むずかしい課題であった。

単純化した形と、少ない色数によって構成し、室内装飾として、過剰にならないように、心がけたつもりである。

(染料使用分量)

濃紺	下漬剤	A S - B G	15g/l	顕色剤	ブルーB	下漬剤×2.2
濃赤(褐色がかかった)	下漬剤	A S - B G	15g/l	顕色剤	スカーレットG G	下漬剤×3.4

(注) 大きさ..... 68 cm × 125 cm 第48回春季北海道美術協会展出品

